

令和8年度シラバス（国語）

学番29 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科（科目）	国語（現代の国語）	単位数	2単位	学年	1年次
使用教科書	『新編現代の国語』（東京書籍）				
副教材等	尚文出版『常用漢字オールクリア五訂版』、浜島書店『新訂版最新国語便覧』 数研出版『正しく読み・解くための力をつける 現代の国語』				

グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の資質・能力を育成する。 ①コミュニケーション能力と自分で課題を発見し解決する能力を育成します。 ②各系列において必要な、基礎・基本の学力の習得を目指し、将来の進路実現に繋げる生徒の育成を目指します。 ③個性を生かし、各系列で創意工夫や発想力を活かし、豊かな感性で新しいものを生み出せる生徒を育成します。 ④社会の発展に貢献しようとする大きな志を持って、主体的に地域の生活を創造できる能力を持つ生徒を育成します。 ⑤自己を管理する力を持ち、他者への思いやりや、協働ができ、市民としての社会的責任を自覚する勤勉な態度の生徒を育成します。
カリキュラム・ポリシー	資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行う。 下越地域唯一の総合学科とした高等学校として、生徒の多様なニーズに対応した教育活動を行います。 ①地域社会と積極的に連携し、協働する力や社会に役立とうとする意識を育成する。 ②「系列」に応じた様々な選択科目を設置し、生徒一人一人が主体的に興味・関心を広げ、力を伸ばす多様な選択を可能にします。 ③各系列での基礎学力の向上を目指し、卒業までに高い専門性を身に付けさせます。 ④各学年における探究的な学習活動や体験学習、教科横断的な学習により、深い学びを実践していきます。 ⑤各系列の多様な価値観や個性を持つ生徒との協働的な学びのフィールドを展開することで、他者を受容し開かれた自己を確立し、人間関係を築く力を育てます。

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

進学・就職等、希望進路が多岐にわたっていることから、
(1) 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。それをもとに、文章を的確に理解した上で自分の考え方を確立させることを目指します。
(2) 他者との関わりの中で自分の思いや考えを伝え合うことで、積極的にコミュニケーションを図り、論理的に考え、共感したことや想像したことを言葉を通して表現していく力を養います。
(3) 文章に関連する本を紹介し、実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めます。これらを中心に、実社会に必要な資質・能力を養います。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

4 評価方法

	知識・技能 a	思考力・判断力・表現力 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言や発表、学習活動への参加状況の観察 ・定期考査の結果 ・授業内小テストの結果 ・ノートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言や発表、学習活動への参加状況の観察 ・定期考査の結果 ・授業内小テストの結果 ・ノートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言や発表、学習活動への参加状況の観察 ・ノートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、総合的に評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域		教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4 5	1 自己を見つめる	5	A 話すこと・聞くこと	福岡伸一 「ルリボシカミキリの青」	- 筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。 - 子どもの頃に夢中になったものや、現在興味や関心があるものについて互いに紹介し合う。	b c	- ワークシート(記述の確認) - 発表の様子(行動の確認)
	2 他者に出会う	5	C 読むこと	石田英敬 「未来をつくる想像力」	- 情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を理解して筆者の主張をつかむ。 - メディアとの付き合い方について考える。	a c	- ノート(記述の点検) - 取り組みの様子(行動の確認)
5 7	2 他者に出会う	4	B 書くこと	山崎正和 「水の東西」	「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 - 評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。 - 文章の要点をつかみ、要約する。	b c	- ノート(記述の分析) - 取り組みの様子(行動の確認)
	3 言葉と生活 1	2	A 話すこと・聞くこと	話す・聞く 分かりやすい説明をしよう	- 相手や目的に合った分かりやすい説明をする。 - ロールプレーを行い、相互評価をする。	b c	- ワークシート(記述の確認) - 活動への参加の様子(行動の確認)
	4 視野を広げる	6	B 書くこと	塚谷裕一 「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」	- 身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。 「スキマに息づく生き物たちの宇役割を積極的に取り込む都市計画」について、考えたことをグループで共有し、資料にまとめる。	a c	- ワークシート(記述の分析) - 振り返りシート(記述の確認)
7 9	4 視野を広げる	5	A 話すこと・聞くこと	港千尋 「無彩の色」	- 色について論じた文章を、具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張をつかむ。 - 写真を比較して気づいたことを伝え合い、それぞれの特徴や気づいたことを表にまとめる。	b c	- ノート(記述の分析) - 取り組みの様子(行動の確認)
	4 視野を広げる	6	B 書くこと	澤田瞳子 「ハサミ——左利きだからこそ見えた世間」	- ハサミに関する筆者の体験について書かれた文章を読み、自分のものの見方を検討する。 - それまで当然だと思い込んでいた考えが変わった経験についてまとめる。	a c	- ワークシート(記述の分析) - 振り返りシート(記述の確認)
	5 社会と関わる	5	B 書くこと	村上信夫 「鍋洗いの日々」	- 自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。 - 自分の知っている職業について、人から話を聞いたり、本で調べたりして、仕事の苦労や喜びの体験談などをまとめる。	a c	- ノート(記述の点検) - 取り組みの様子(行動の確認)
9 12	5 社会と関わる	6	A 話すこと・聞くこと	為末大 「動きを引き出す言葉の力」	スポーツや芸術などにおける身体の動きを取り上げ、経験したことがない人でもその動きができるように言葉で伝える。また、気づいたことや感じたことを話し合う。	b c	- ワークシート(記述の確認) - 活動への参加の様子(行動の確認)

9 1 2	5 社会と関わる	3	B 書くこと	書く 憧れの職業について調べ、整理してまとめよう	・調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。 ・論理の展開、情報の分量や重要度などを考え、文章の構成や展開を工夫する。	b c	・ノート (記述の分析) ・取り組みの様子 (行動の確認)
	6 言葉と生活 2	5	B 書くこと	書く 新聞記事を読んで意見文を書こう	・記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意見をまとめる。 ・情報を集めて検討し、構成を工夫して書く。	a c	・ワークシート (記述の分析) ・振り返りシート (記述の確認)
	7 世界とつながる	2	C 読むこと	渡辺美佐子 「りんごのほっぺ」	・出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。	a c	・ノート (記述の点検) ・取り組みの様子 (行動の確認)
1 2 3	7 世界とつながる	6	C 読むこと	小川さやか 「人生という豊かな人間関係」	・具体例から筆者の主張やタンザニアの人々の価値観を読み取り、自分の体験や考えと比較する。 ・普段の移動や旅行に際して自分はどうのような準備や下調べをしているか考える。	b c	・ノート (記述の分析) ・取り組みの様子 (行動の確認)
	8 未来に目を向ける	5	A 話すこと・聞くこと	多田将 「天動説はなぜ『正しかった』か？」	・タイトルや具体例に注意して、科学についての筆者の考えを読み取る。 ・宇宙に関するニュースや文章などから一つ取り上げ、それがどのような内容か、なぜ印象に残っているか話し合う。	a c	・ワークシート (記述の分析) ・発表の様子 (行動の確認)
	8 未来に目を向ける	5	B 書くこと	鷺田清一 「真の自立とは」	・「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 ・筆者の主張を一つ取り上げ、それに対する肯定または否定の意見を、根拠とともに文章にまとめる。	b c	・ワークシート (記述の確認) ・取り組みの様子 (行動の確認)

計 70 時間 (50分授業)

※領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」 23 時間	B「書くこと」 34 時間	C「読むこと」 13 時間	70
	(目安) (20～30h)	(30～40h)	(10～20h)	

6 課題提出物等

- ・副教材のテキストの内容から、毎週漢字の小テストを実施します。
- ・長期休業中の課題は別途指示し、休業明けには課題テストを実施します。
- ・学習内容に関連した課題を随時課します。
- ・上記の小テストの結果や課題の内容、提出状況は評価に含めます。

7 担当者からの一言

「現代の国語」は実生活に生きる社会の形成者として必要な国語の能力を育成する科目です。国語や言葉の知識を身に付けることに加え、論理的に考え、他者との関わりの中で共感したり想像したりする力や伝え合う力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりしていきましょう。こうした力は、さまざまな学習に生きる力です。受身ではなく、目的意識を持って、意欲的に取り組むことを期待します。